

航空機向け革新的推進システム開発事業

令和6年度概算要求額 13億円（新規）

事業の内容

事業目的

国際的な要請を踏まえた航空機の省エネルギー化、CO2排出削減に向けては、様々な技術コンセプトが存在しているものの、次世代の航空機へ適用する上では、重量や安全性等の観点から、既存技術の延長では対応が困難な技術的制約が存在する。本事業では、我が国において開発されてきた優位性ある要素技術を活用し、そうした技術的な制約を克服する革新的な推進システムを世界に先駆けて確立することを目的とする。

事業概要

航空機向けの高効率かつ高出力な推進システムの実現に向け、超電導モータ等の革新的なコア技術及びその周辺技術において、航空機に搭載するために必要となる高効率化、軽量化等に向けた技術開発を行うとともに、それらの技術を統合したシステムとして成立させた上で、実証試験による成立性の評価を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

システムレベルでの実証モデルにおける実用可能性の妥当性を確認する（TRL（Technology Readiness Level：技術成熟度）6）。

海外OEMメーカー等による実証試験もしくは実証機に研究開発成果を搭載する。